年間教授計画　2026年度（4月～2月）

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間	単位数
画像基礎	ｸﾗｽ: 1 年 J 組 学科:クリエイター ｺｰｽ:全コース	石橋	Photoshopよくばり入門	4 時間/週	120 時間	4 単位

授業概要	adobe Photoshopを使用します。主に写真画像を使って“画像のデジタル処理”について学んでいきます。
最終到達目標	「デジタル画像とは何か？」を理解し、画像処理技術の基本知識を身につける。

月	週	単元	内容および授業方法
前期（4月～9月）	1	**導入** Photoshopについて	**基本1(講義→実習→小テスト)** まずは基本的な以下の説明を行い、小テストで理解度を確認します
	2	(複数の小テストあり)	・カラー設定 ・サイズと解像度
	3		・選択範囲の作成 ・ツールの説明
	4	**課題1** 写真画像の扱い1	**基本2(講義→実習→小テスト)**
	5	・補正1 ・画像合成1	・カラーモード ・レイヤー構造
	6	(複数の小テストあり)	・チャンネル ・マスク処理
	7	**課題2**	・保存形式
	8	写真画像の扱い2 ・補正2	**描画ツールについて**
	9	・画像合成2 (複数の小テストあり)	・ブラシツール説明 ＊サイズ、ボケ、不透明度などの設定の変更
	10		＊シェイプ、散布などの調整
	11	**課題3** 変形のバリエーション	**変形ツールについて**
	12	(複数の小テストあり)	・変形の応用・・・遠近法、ワープなど
	13	**課題4**	**バッチ処理について**
	14	バッチ処理 (複数の小テストあり)	課題4を通して以下の内容を学びます ・バッチ処理(自動処理)とはなにか？
	15		・アクションについて ・バッチについて
後期（10月～2月）	1		
	2	**応用課題** 教科書の練習データを使っ	**応用1(実習:教科書の練習課題を使用)**
	3	(オリジナル作品としての提出あ	同じ内容をシチュエーションを変えて繰り返すことによって、より理解を深める 例1)「ポストカード制作」の課題があるとして・・・テーマを変えながら繰り返す。
	4		例2)「画像補正」の課題があるとして・・・使用画像を変えて繰り返す。
	5		補足:この単元の練習課題はたくさんの量がありますが、ひとつひとつ丁寧に学んでいきましょう。
	6		重要:ここで作成した課題のいくつかは、今後の就職活動に必要な“ポートフォリオ”に掲載できる完成度に高め、提出
	7		告知:後期に入って、小テストより規模の大きい実技試験をいくつか予定しています
	8		
	9		
	10		
	11	**応用課題2** **コラージュ作品を作る**	**応用2(実習)** 1)自由にテーマを設定する
	12	(オリジナル作品としての提出あ	2)それにあった画像を収集する 3)自由にイメージを組み立てながら画像を組み合わせていく
	13		4)できればいくつかのバリエーション違いを制作したい
	14		以上 注1:各年毎に進行スピードに違いがあるため、上記の内容に変更や追加が生じる事があります。
	15		注2:すべての提出物に関して心がける大切な事・・・期限を守る事

成績評価方法	項目 ※1		授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他（　）
	割合	前期	20%	40%	20%	10%	10%	0%
		後期	20%	40%	20%	10%	10%	0%

備考 ※2	多くの小実技テストを実施します。その“内容”と、とくに“提出状況”が全体評価の大半につながるので“授業への参加”を心がけて下さい。

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験／小テスト:単元ごとのテスト等／課題内容:課題提出および課題の出来具合
その他:（　　）に具体的内容を記載。(例)外部実習評価
※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。